

教の協だより

東山梨教育協議会
No. 3

事務局
Tel : 33-2635
Fax : 33-3944
Mail : kenkyu@e103.net

教育講演会のお知らせ

生物学者 早稲田大学教授

池田 清彦 (いけだきよひこ) 氏

演題

(仮) 「がんばらない生き方」

～少しの努力で“できる子”を育てる池田清彦の子育て術～

現在、学校現場では、社会の急激な変化への対応、家庭・地域の教育力の低下にともなう教員に対する過度の期待、子どもの学ぶ意欲や学力の問題、いじめや不登校等の複雑・多様化した状況に、多忙感を抱いている先生方が少なくありません。

文部科学省によると、平成27年度、全国の精神疾患による休職者は5,009人で、平成19年度以降、依然として高い水準にあると報告されています。教職員の誰もが心の病にかかる可能性があります。心の病の要因は人それぞれですが、ストレスが大きな要因のひとつであることは言うまでもありません。

あなたの「がんばり」は本当に必要ですか？

息苦しい世の中で大合唱されている「がんばる」という価値観にメスを入れ、人生を楽しく生きるための考え方を紹介します。また、一番適切な時期に必要な教育を施す。その見極め方さえ押さえれば、子育ては“楽ちん”で“楽しい”ものになります。生育期別の「やるべきこと」「やってはいけないこと」をご紹介しながら、最小の労力で最大の効果を上げる、究極の子育て術を語ります。

(講師依頼.com ウェブサイトより)

「がんばらないってどういうこと?」「楽をしろってこと?」といった疑問の声が聞こえてきそうですが、ストレスをコントロールして、これからの仕事の進め方を考えるとともに、学校の業務改善をはかり、教職員の事務的負担を軽減すること、協働性をさらに高めることなど、私たちが意識改革をすることで、子どもたちと十分に向き合い、充実した教育活動を展開することができるのではないかと考えます。

子どもと向き合う時間を確保するためには、教職員の心身の健康の保持が大切です。情熱と使命感を持つ多くの先生方が、その力を最大限に発揮させるためにも、心と体の健康が第一です。子どもと向き合う時間を確保するとともに、私たち教職員の心身にわたる健康の保持に向けて、一学期の「がんばり方」をふりかえり、二学期の「がんばり方」を考えてみてはいかがでしょうか。

全会員の参加はもちろん、保護者・地域の皆様にも積極的に声をかけていただき、教職員以外にも多くの方が参加していただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



1947(昭和22)年、東京生まれ。
東京教育大学理学部卒業。
東京都立大学大学院生物学専攻博士課程修了。
山梨大学教育人間科学部教授を経て、2004(平成16)年4月より早稲田大学国際教養学部教授。
山梨大学名誉教授。

生物の構造や進化を遺伝子の違いからではなく、遺伝子の組み合わせによって捉える構造主義生物学を提唱し、多分野にわたって評論活動を行っている。

著書には『がんばらない生き方』『ナマケモノには意義がある』『構造主義生物学とは何か』『正しく生きるとはどういうことか』『新しい生物学の教科書』専門の生物学分野のみならず、科学哲学、環境問題、生き方論など、幅広い分野に関する60冊以上の著書を持つ。また趣味は昆虫採集。カミキリムシの世界的な採集家でもあり、昆虫についての著作も多い。

フジテレビ系『ホンマでっか!?TV』の評論家としても活躍中で、歯に衣着せぬコメントが大人気。新聞、雑誌などでも活躍。

日時：8月4日(金)

受付：9:30～ 開会：9:45

場所：いちのみや桃の里ふれあい文化館

駐車可能台数には限りがありますので、1台3名以上の乗り合わせにご理解とご協力をお願いします。